

タリであつたであらうが、之だけで直に古事記の御綱柏をオホタニワタリと断定するのは多少の無理がありはしないかと思はれる。

四、以上で御綱柏の何であるかといふ諸説を述べ盡したつもりであるが、果して何れが真か。

私は古事記や日本書紀にある御綱柏といふものは結局傳説の植物として見るのが穩當であるまいかと思ふのである、古書に確かな形態の記載がないのであるから、後になつて之を何植物であると判定せんとするのは頗るむづかしい問題といふよりも寧ろ不可能であるといふべきである、伊勢の記でも宮川日記でも後世の人の書いたものであるから、之等の書物に御綱柏といつてゐるものでもそれが果して古事記や日本書紀にあるものと同じものであるかどうかは永久に解けない謎として残るものとししか考へられないのである。

## 抄 録

**ブーランガー氏**：—東亞薔薇屬合體花柱類再檢 (G. A. BOULENGER :—Revision des *Roses* d'Asie de la Section des *Synstylae*. in Bull. Jard. Bot. de l'État, IX. fasc. 4, 1933. p. p. 203—279.)

著者はベルギーで自分の手元に CREPIN氏所藏薔薇屬の標品を有すると云ふ所から斯かる仕事をやつたものだらふが、其 Revision のあとは、めちやめちやである、よく我念の強い未熟な分類家が澤山の標品も持たずに往々かゝることをするものであるが、又同時に歐洲の分類家は最早、日本植物に手を出さず資格のなくなつた事を十分にあらはしてゐる、此氏の Revision の如きは日本植物家の唯一笑を買ふのみであらふ。(G. K.)

**秦仁昌**：—支那蕨屬 (R. C. CHING :—*Sinopteris* CHING, nov. gen. in Fan. Mem. Inst. Biol. Peiping, China, vol. IV. no. 10, 1933. p. 359. t. 1-2.)

秦仁昌氏は四川、雲南、直隸の地方に於て支那蕨屬 (*Sinopteris*) を新に設立せり、本屬植物は一般習性及び外部形態に於ては頗るヒメウラジロ (*Cheilanthes argentea*) に類似せり、然れども到細に研究すると總ての裏星科植物 (Polypodiaceae) より全く異なるものなり、即ち本屬植物の孢子嚢は葉脈の先端に於て獨生し極めて稀に双生し、縁包膜にて被るもので、囊堆は單一子嚢より成るものである、Monangiae Sorus は原的性質で *Botrychium* や *Mohria* (Schizaeaceae) の如き下等羊齒に見る事で裏星

科にはない事である。

孢子嚢は頗る大形で、全く柄を有せず、球形にして裏星科に普通な両扁形でない、環帯亦頗る潤大にして殆ど完環で大凡そ三十個許りの厚膜細胞より成る。

本属は以上の點に於て少しく裏白科に類するも一層之に近きは水蕨科である、然し水蕨科は全く之と構造、習性を異にし包膜もない。

以上は著者が新に本属を設立せし所以なるが、抄録者は同時に以上の理由を以て本属により一の新科を設立し支那蕨科 (*Sinopteridaceae* nov. Fam.) としたい考である、それで抄録者の新科の性質は次の如く決定する。



- 1、全 形 (縮小)
- 2、小 羽 片
- 3、小羽片ノ一部
- 4、囊 堆
- 5、小羽片縦斷
- 6、孢 子 嚢
- 7、孢 子
- 8、葉柄ノ横斷
- 9、鱗 片

*Sinopteris grevilleoides*.

### *Sinopteridaceae* Koidz. nov. fam.

Sporangium solitarium, i e sorus monangialis, marginale, terminale, magnum, globosum, sessile, annulo verticale latissimo fere completo circiter 32-cellulis valde incrassatis compositum; stomio laterale; sporis magnis opacis globosis bilateralibus grosse echinulato-verrucosis, perisporis distinctis; indusio latissimo marginale soro tegento.

Rhizomate brevi erecto hypogaeo dense radicoso; foliis 4-9-fasciculato-

May, 1934.

51

caespitosis, stipite ebeneo, tereti ad pedem modice squamoso ; laminae configuratione et partitione cum *Cheilanthe* subgen. *Aleuiteridi* omnino bene congruens ; systemate vasculare ad pedem stipitis solenostelo.

Gen. *Sinopteris* CHING.

Species 2 in China incolae.

1, *Sinopteris grevilleoids* (CHRIST) CHING.

Hab. Yunnan, Szechuen.

2, *Sinopteris hopeiensis* CHING.

Hab. Hopei.

西南支那には羊齒類は 600 種以上もありて其内には支那特有屬として *Archangiopteris*, *Cheilanthopsis* 及び本屬等の珍品を包蔵してゐる。(G. KOIDZUMI)

**エリアス**：—關節種子植物 (M. K. ELIAS :—On a Seed-bearing *Annularia*, in Bull. Univ. Kansas. vol XXXII. no. 10, 1931. pp. 115—134. t. 12—15.)

北米 Missouri州の石炭紀下部 (lower Pennsylvanian system) より *Annularia* type の植物にして、枝の中央部の leaf-whorl 二許りの葉腋に無柄の卵狀の種子が一ニケづゝ附着し、之を付けし葉は下にまがり他葉よりも細き形狀を呈せるものを發見し、佛蘭西の BRONGNIERT 氏や RENAULT 氏の豫言を實現せりと云ふ、種子は 7-7.5 mm の長さを有する卵狀體にして先端少しく突起せり、種皮には波狀の筋あり、内部の構造は不明なれども之はムカゴには非らずして種子なるべきは A. C. SEWARD 氏が Wealden の *Equisetites Burchardtii* DUNKER のムカゴに比するに全く別であるから解ると云ふ、それで氏は關節植物族 (Articulatae) の第七目として *Arthrospermales* を設け *Arthrospermaceae* 科を置き本植物を *Carpannularia americana* ELIAS n. g. & sp. と命ぜり。(G. KOIDZUMI)

**ハルリス氏**：—ケイトンソウ目 (T. M. HARRIS ;—A new Member of the *Caytoniales*, New Phyt. vol. 32, p. 97—114, t. 4.5, 1933 ;—The Fossil Flora of Scoresby-sound East Greenland, part. 3, 1932 *Caytoniales* and *Bennettitales*, pp. 1—133. t. 1—19.)

1925年 H. H. THOMAS 氏は Yorkshire の中部侏羅より *Proangiospermae* と見做して記載せし *Caytonia*, *Gristhorpia*, *Antholithus* の三屬及び從來知られし *Sagenopteris* な